

店舗一覽

明石市中央部	本明石丸林	店 支 支 支	明石市本町2-3-20 明石市桜町11-14 明石市大蔵天神町4-7 明石市林崎町1-4-20	078(912)4567 078(911)8181 078(912)0337 078(922)7431
	明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
		市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
		大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
江井ヶ島支店		明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623	
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066	
	宝本支店	高砂市神爪1-10-2 加古郡播磨町南野添1-2-1	079(432)8711 079(435)3270	
三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211	
	緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231	
	小天滝支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135	
	野神支店	加東市天神492 加東市上滝野2413	0795(47)1011 0795(48)2010	
神戸市東部	本魚支店	神戸市東灘区田中町3-3-3 神戸市東灘区魚崎中町3-2-21	078(431)1061 078(411)3281	
	六甲支店	(下記住所で平成29年7月24日より新築オープン予定) 神戸市東灘区魚崎南町7-7-7		
	西灘支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107 神戸市灘区岸地通4-4-15	078(841)0141 078(802)1431	
神戸市中央部	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731	
	宇治川支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222	
	兵庫支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502	
	平野支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443	
	板宿支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4 神戸市須磨区前池町3-4-1	078(361)0411 078(735)6001	
神戸市北部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221	
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621	
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489	
神戸市西部	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222	
	舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171	
	伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571	
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110	
西宮市	西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489	

<にっしん>

最新の決算 ミニガイド

● 2017年5月 ●

We will make a fresh step everyday.



彫画:伊藤 太一

あなたのそばで
明日を奏でる。

日新信用金庫

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
0120-15-2489
(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

URL <http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本国内の景気は、平成24年12月に始まった「アベノミクス景気」がバブル経済期を抜いて戦後3番目の長さとなりました。世界経済の金融危機からの回復に歩調を合わせ、円安による大手企業の収益増や公共事業が景気を支えています。一方、生産年齢人口の減少に加え、インバウンドを含む需要増の影響で、宿泊・飲食業や小売業、建設業、運輸業、介護事業など幅広い業種で人手不足が深刻な状況にあります。

地域の中小企業においては人件費や材料費の高騰により、売上に対する利益確保が難しい状況にあります。

さて、当庫の平成29年3月末現在の預金残高は7,010億円、貸出金残高は3,229億円となり、いずれも期末残高としては、過去最高となりました。当期純利益は1,098百万円計上することができました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.70%と十分な水準にあります。

決算の概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸甚でございます。

平成29年4月にはソリューション営業グループを「ソリューション事業室」とし、創業支援、成長支援、経営改善支援、事業承継支援などライフステージに応じて発生する課題について、より一層きめ細かな支援ができるよう強化いたしました。

また、平成29年度は、中期3ヶ年事業計画「つなぐ力～地域と共に繁栄する信用金庫を目指して～」の最終年であります。〈にっしん〉は「お客さま第一主義」を旨として、「お役に立ち、信頼される信用金庫」として地域の発展に一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 5 月

〈にっしん〉は便利になりました。

- ATMの更改及び入替について (H29.3)
営業店舗内ATMのすべてに荷物置き台を設置しました。ATMの表示を見やすく操作も判りやすくしました。
※ATMご利用時間は、全店舗8:00～21:00です。 平日・休日にかかわらずご利用いただけます。
- インターネットバンキングご利用時間は、8:00～21:00です。 平日・休日にかかわらずご利用いただけます。
- スマートフォンで普通預金口座の開設ができるようになりました。(H29.5)

お客さまの安心・安全のための取り組み

- インターネットバンキングの不正取引防止対策を強化しました。(H29.3)
ワンタイムパスワードは利用の都度変更される1度限りのパスワードです。その振込先しか有効でない専用のワンタイムパスワード(トランザクション認証対応)で不正取引防止対策を強化しました。

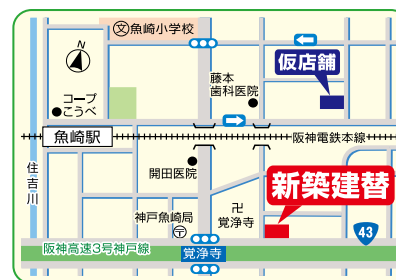
絆 (地域とともに持続的発展を)

- にっしん経営塾を開催(三木地区) 全6回(H28.10～H29.3)
※明石地区、神戸地区、三木地区順に取り組んでいます。
- 川上・川下ビジネスマッチングフェア 2017に参加(H29.3)
- 第53期リフレッシュサロン開講 全6回(H28.10～H29.3)
- 【子育て応援定期積金(夢すくすく)】の取扱い(H28.4～29.3)
- 【子育ておうえん定期預金】の取扱い
(明石市内の10店舗 H28.5～H28.11) (神戸市内の17店舗 H28.9～H28.12)
 - ・明石市:定期預金獲得額の一定割合を明石市の「明石市子ども基金」へ寄付し、「こども夢文庫」等の運用に活用していただきました。
 - ・神戸市:定期預金獲得額の一定割合を神戸市に寄付し、神戸市総合児童センター「こべっこランド」等の運営に役立てていただきました。
- ヴィッセル神戸サッカークリニックに特別協賛。(H28.10)
「ヴィッセル神戸サッカークリニック」をヴィッセル神戸いぶきの森競技場で開催。
※約110名のサッカーが大好きな少年少女が、ヴィッセル神戸の現役Jリーガーと触れ合い、スクールコーチの指導を受けました。
- 第8回明石公園リレーマラソンに特別協賛し金庫選抜5チーム(49名)が参加。(H28.11)
- 【地域のPRのための番組協賛】
 - ・ラジオ関西番組名:魅力満載!海峽通信
 - ・明石ケーブルテレビ番組名:もうひとつのガイドブック

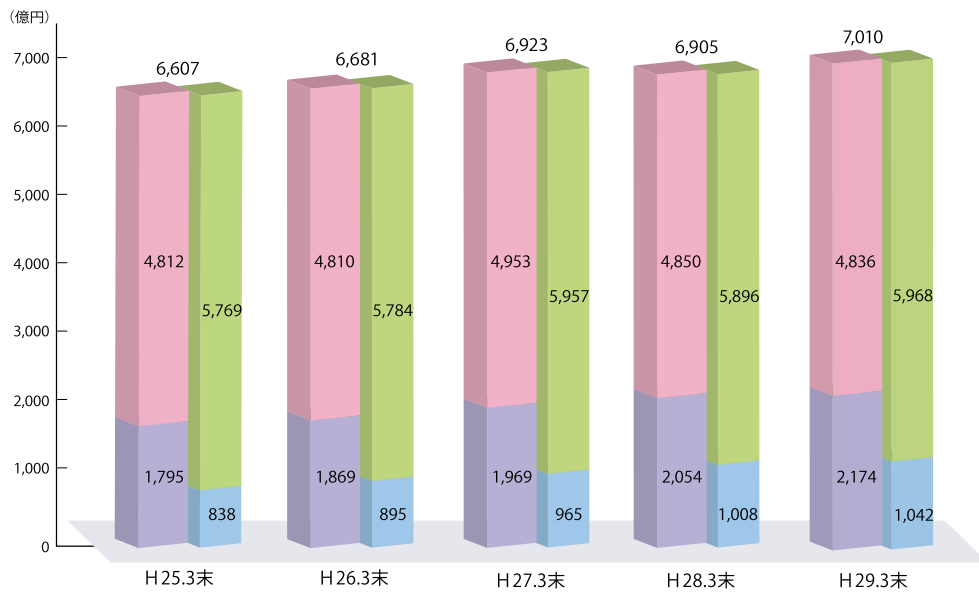
魚崎支店新築オープン

魚崎支店 現地建替えに伴い平成28年7月11日(月)より仮店舗で営業しています。

- 平成29年7月24日(月)新築オープン予定



〈預金〉



【預金】

預金は平成28年3月末対比104億円増加して7,010億円となり、期末預金残高は過去最高を更新しました。

定期性預金につきましては、金利低下の影響によりお客さまのご期待に沿えず平成28年3月末比14億円の減少となりましたが、その一方で普通預金などの流動性預金は119億円の大幅な増加となりました。

また、法人、個人ともにお取引先が増えたことによりまして、法人預金は33億円の増加、個人預金は71億円の増加となりました。

これからも多くのお客様のご要望にお応えし、お役に立ち、喜んでいただけるよう努めてまいります。

【貸出金】

地域密着を重視した営業活動に取り組んだ結果、貸出金は平成28年3月末対比196億円増加し3,229億円となり、預貸率も増加傾向にあります。

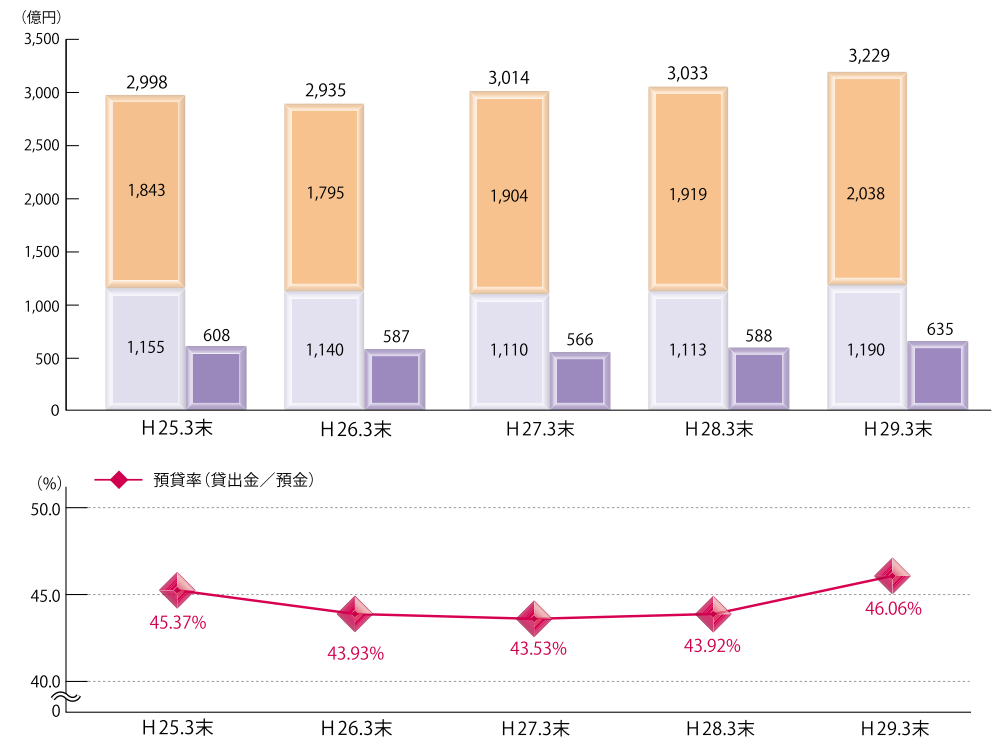
今後もお客様との対話を重視し、課題解決型金融に全力で取り組むとともに、適切で円滑な資金の提供に努めてまいります。

【業種別構成比】

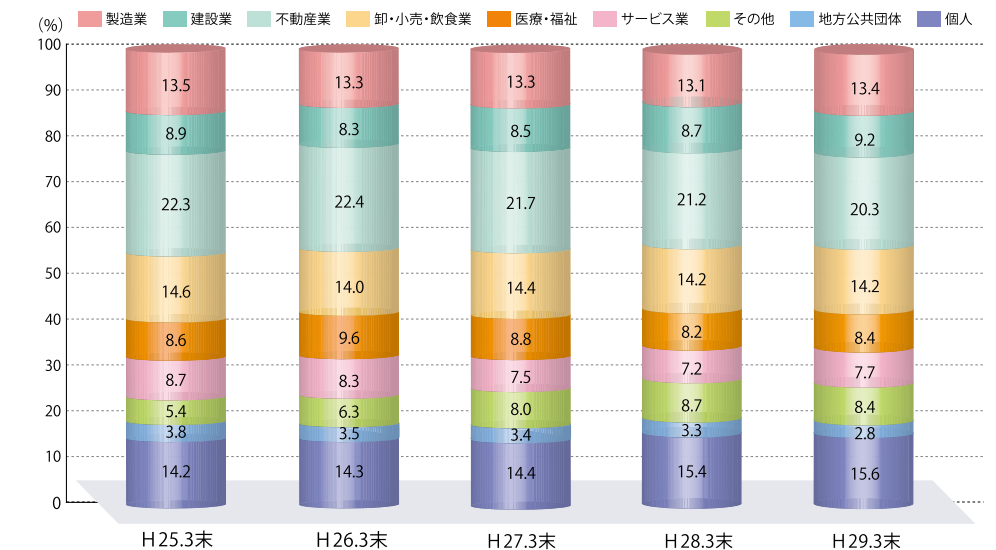
貸出金の業種別構成比の推移をみると、平成28年3月末と比較しサービス業と建設業でそれぞれ0.5%、製造業で0.3%、医療・福祉で0.2%の増加が見られます。一方、不動産業の構成比は0.9%、地方公共団体で0.5%の減少となっています。

個人向けの貸出金については0.2%増加しています。今後、インターネットでのお申込みをしていただける各種ローン商品の充実化に努めてまいります。

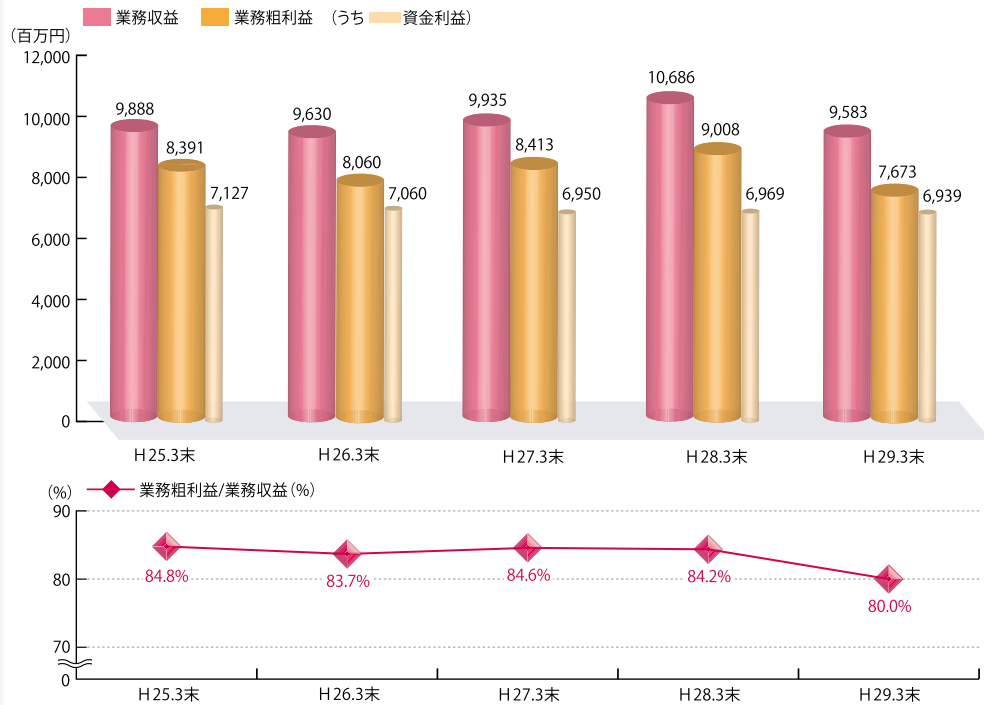
〈貸出金と預貸率〉



〈貸出金の業種別構成比の推移〉



〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉

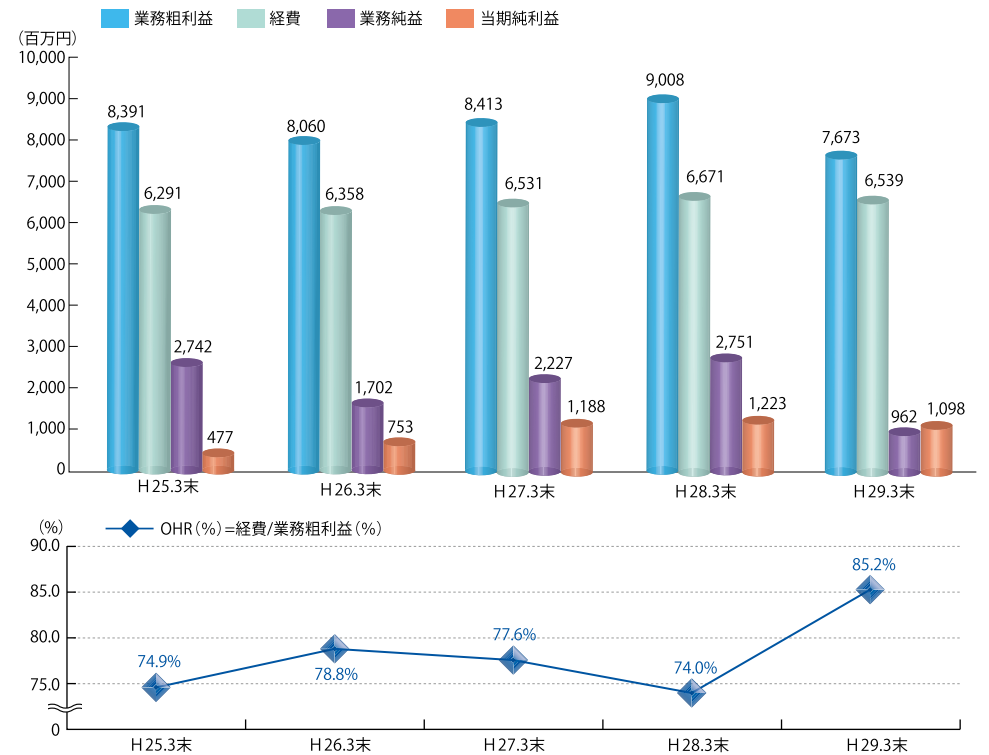


一般企業の売上に当たる業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役務取引収入等)は、1,103百万円の減収となりました。これは不良債権処理費用が減少したため債券売却による益出しを前年度に比べて961百万円抑えたことが主な要因です。

業務粗利益(業務収益-預金利息等の原価)は、業務収益の減少により1,335百万円の減益となりました。資金利益(資金運用から発生する利益-預金支払利息)は、30百万円の減少にとどまりました。

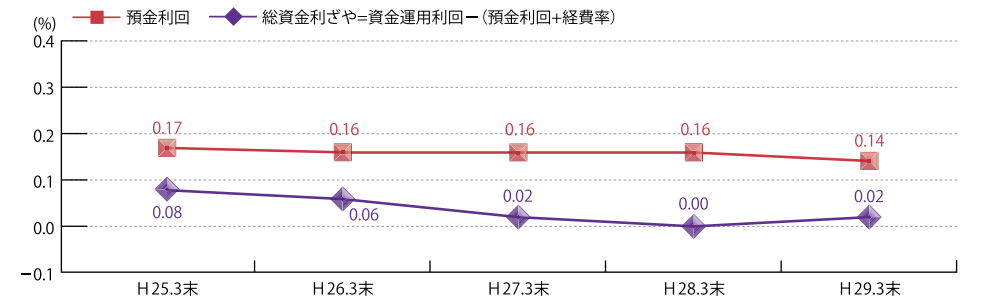
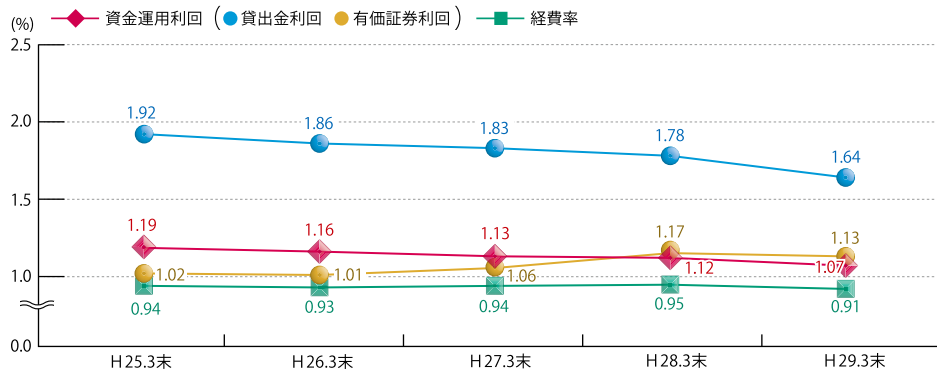
〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益-経費等)、当期純利益〉

(参考)業務粗利益-(経費+一般貸倒引当金繰入額)=業務純益



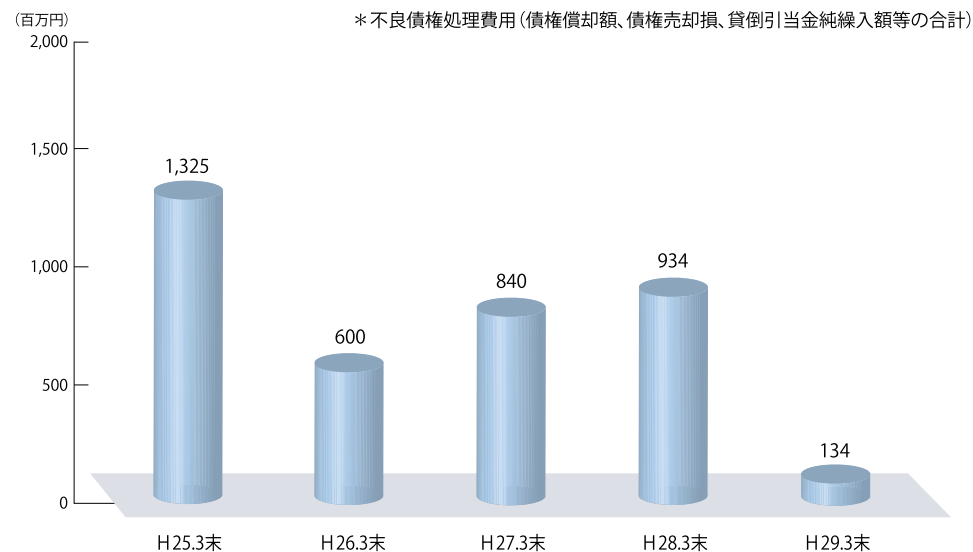
業務純益は、経費が減少したものの業務粗利益が前年度に比べて1,335百万円減少し、一般貸倒引当金繰入額が170百万円となったため、1,789百万円減少の962百万円となりました。当期純利益は前年度に比べて124百万円減少の1,098百万円となりました。OHRは業務粗利益の減少により上昇しました。

〈資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉



資金運用利回は前年度と比べて低下しました。主な要因は貸出金利回の低下と市場金利低下の影響を受けて有価証券利回が低下したことによるものです。総資金利ざやは、資金運用利回が低下したものの、預金利回や経費率の低下により前年度よりも改善し0.02%となりました。これからも、一層、収益力の向上に努めてまいります。

〈貸出金にかかる不良債権処理費用等〉



貸出金にかかる不良債権処理費用とは、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計です。すなわち、将来の発生を見込んで現時点で算定した損失見込額及び回収不能となって確定した損失額の合計額です。

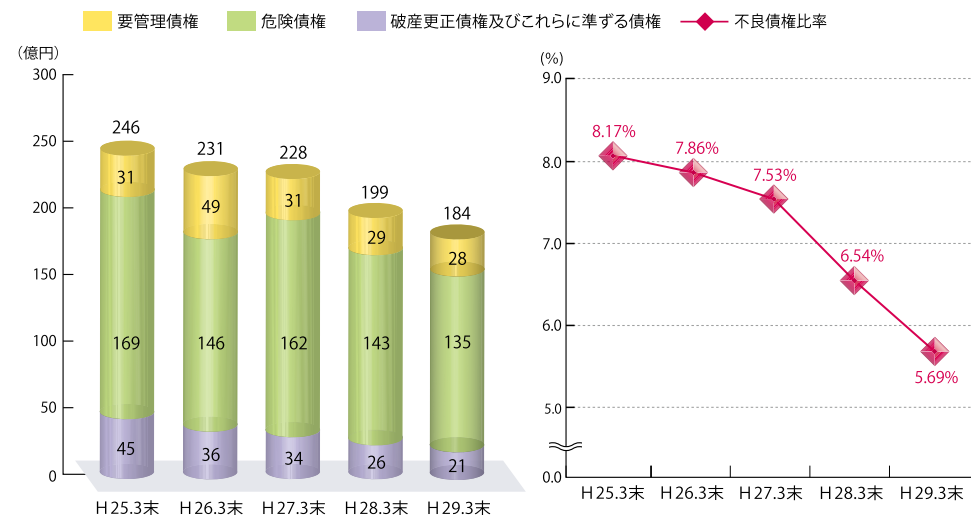
平成29年3月期の不良債権処理費用等は前年度に比べ799百万円減少しました。前々期は将来のために大口未保全先に対して積極的な引当を実施したこと、前期は目立った不良債権の発生はありませんでしたが、金庫の健全性を高めるために不動産鑑定による担保評価掛目の見直しと、危険債権に対する引当率の引き上げによって積極的に引当金の積み増しを行ったことによるものでした。今期は、将来のための積極的な引当が一巡し、不良債権の発生も少なかったことから大きく減少しています。

今後も貸出債権の不良化を防ぐため、お客様のライフステージに応じて発生する課題についてきめ細かな支援を全力で取り組むと同時に、将来のために引当も十分に行ってまいります。

〈不良債権(要管理先を除く)の保全状況〉

平成29年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は156億円ですが、その保全状況は右の通りです。貸倒引当金は45億円積んでいます。会計上45億円は損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が65億円、一般担保(土地・建物等)・保証(保証会社保証)で保全されている額が33億円、合わせて99億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの12億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

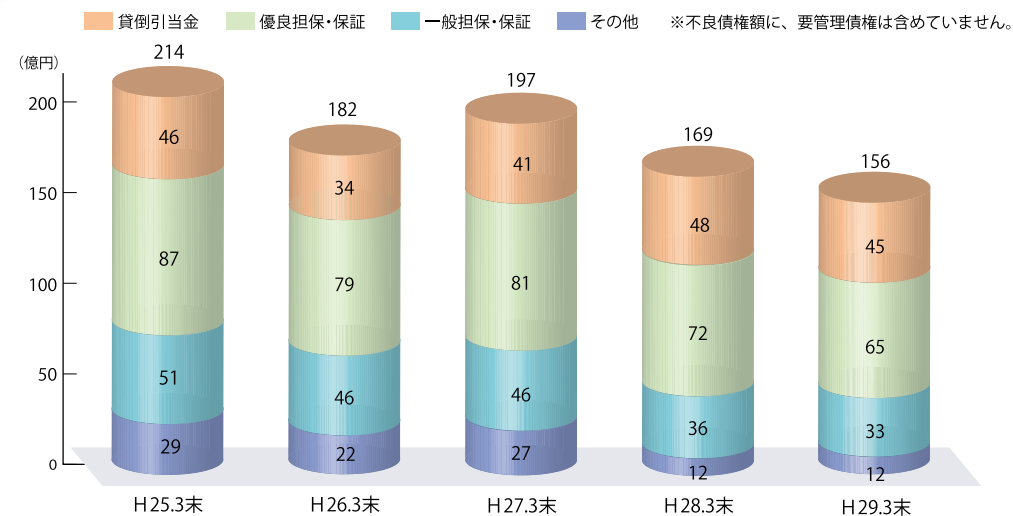
〈不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率〉



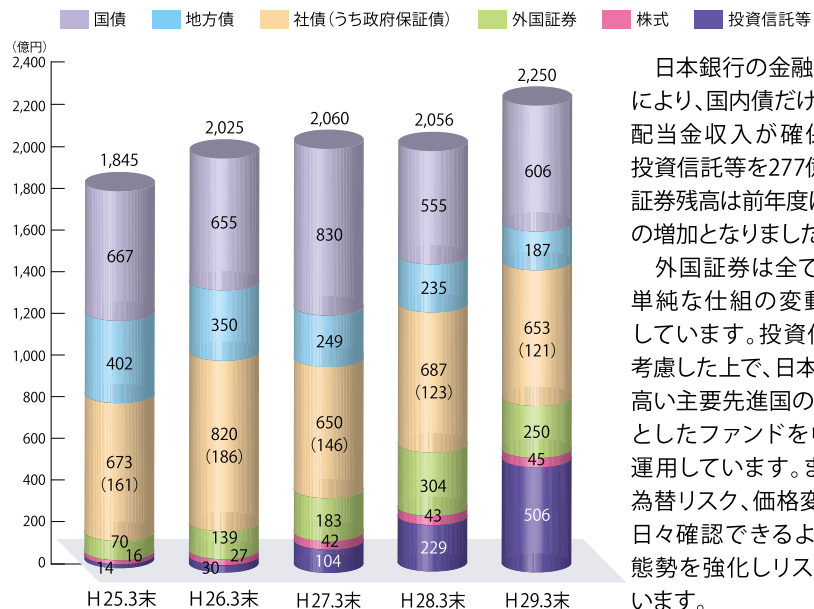
不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

平成29年3月末の不良債権残高は前年度に比べて14億円減少しました。また、不良債権比率は5.69%に低下しました。これは、不良債権の発生が少なかったこと、お客様の経営内容が良化したこと、それに貸出金が増加したことによるものです。

これからもお客様と一体となって経営改善に取り組んで参ります。



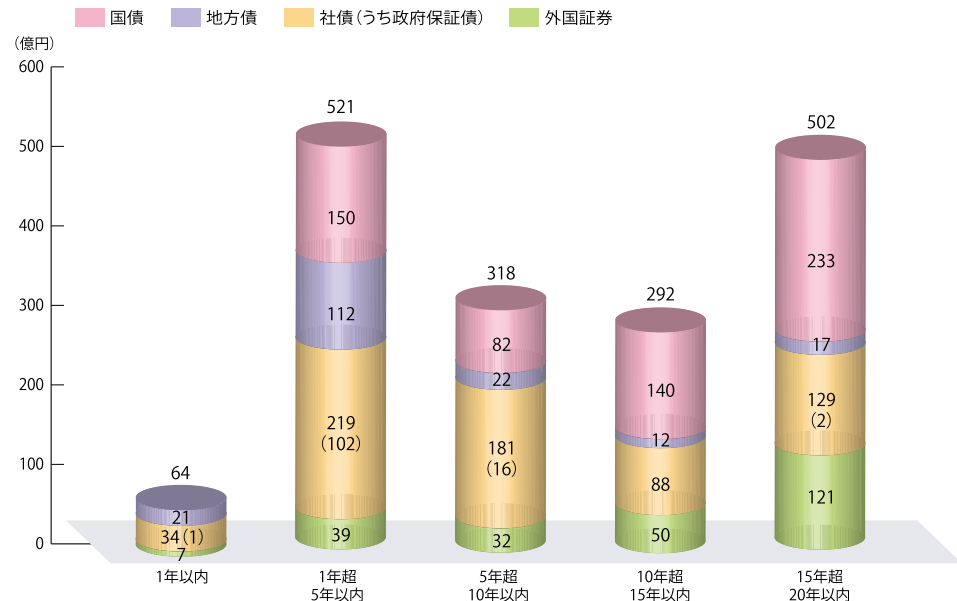
〈有価証券の種類別保有状況(期末残高)〉



日本銀行の金融緩和政策の影響により、国内債だけでは所期の利息配当金収入が確保できないため、投資信託等を277億円増やし、有価証券残高は前年度に比べて194億円の増加となりました。

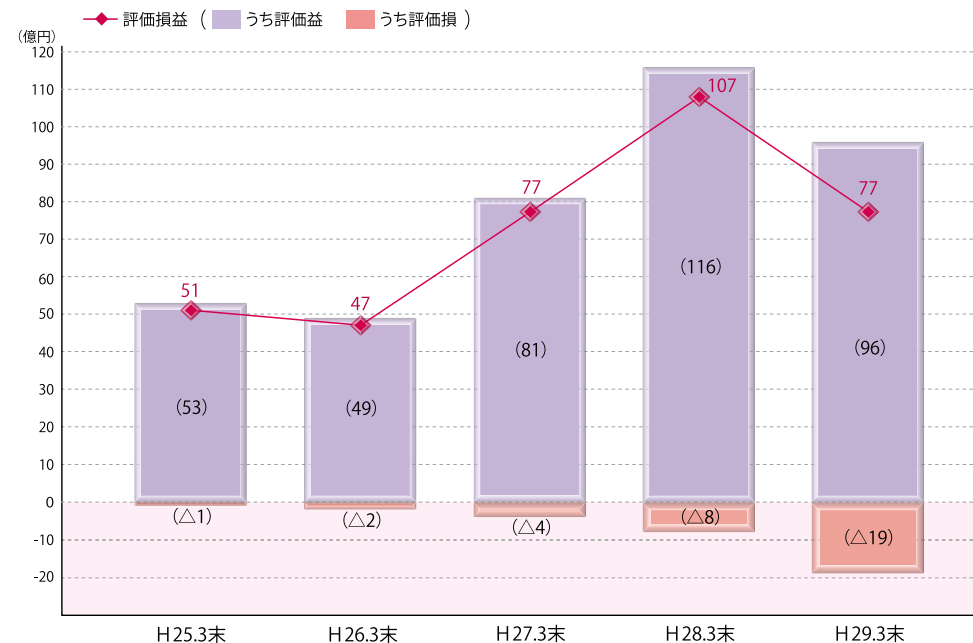
外国証券は全て円建てで、主に単純な仕組の変動利付債で運用しています。投資信託は安全性を考慮した上で、日本より市場金利が高い主要先進国の国債を投資対象としたファンドを中心に分散して運用しています。また、金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどを日々確認できるようにリスク管理態勢を強化しリスク分散に努めています。

〈債券(償還までの期間別に見た残高)(平成29年3月31日現在)〉



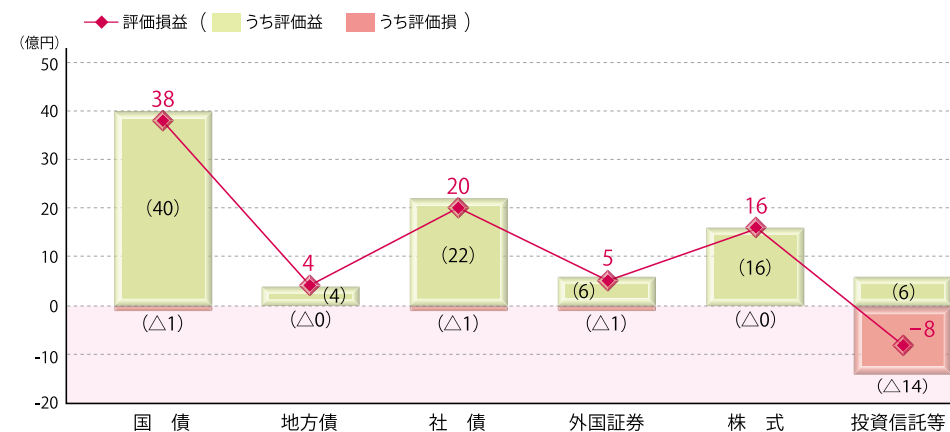
有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。収益向上のため、期間10年超20年以内の国債、地方債、社債、外国証券にも投資しています。なお、期間20年超の債券への投資は行なっていません。

〈有価証券の評価損益の推移〉



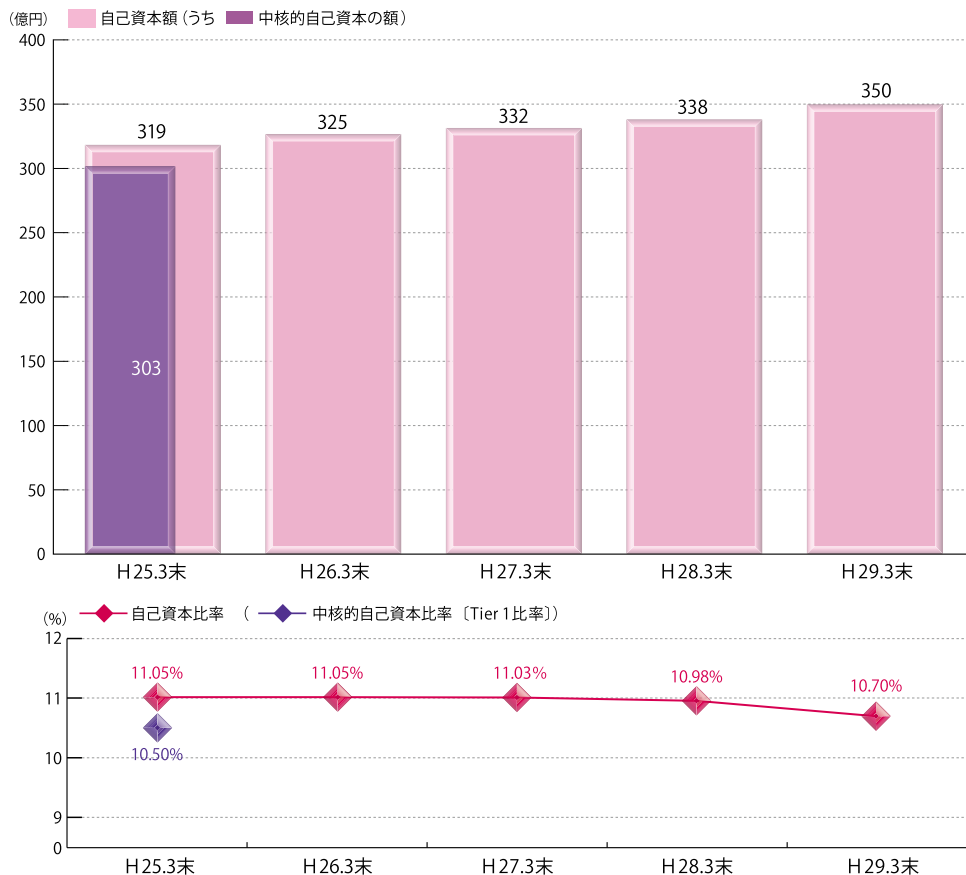
平成29年3月末現在、有価証券の評価益は96億円、評価損は19億円です。有価証券全体で差引77億円の評価益となっています。

〈有価証券の種類別の評価損益(平成29年3月31日現在)〉



平成29年3月末現在の有価証券の種類別評価損益を示したグラフです。投資信託等は、米大統領選以降の海外金利上昇を受けて、主要先進国の国債を投資対象とした銘柄について、評価損が発生しています。投資信託等以外の有価証券では評価損は少なく、評価損益はプラスとなっています。

〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉



(億円)

	H25.3末	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末
リスクアセット	2,887	2,946	3,011	3,082	3,271

自己資本比率は、平成29年3月末で10.70%となりました。当金庫の自己資本比率は、貸出金の増加によってリスクアセットが増加し、前年度と比べて0.28ポイント低下していますが、国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。

これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

なお、自己資本比率の算出方法を定めた基準(平成18年金融庁告示第21号)が平成25年3月8日に改正され、平成24年度は旧告示に基づく開示、平成25年度以降は新告示に基づく開示を行なっています。それにより、平成26年3月期から中核的自己資本比率は記載していません。



平成28年10月15日(土)～林崎支店～
第13回スポーツフェスティバル21林が開催され、職員4名がグランドゴルフに参加しました。



平成28年10月29日(土)～緑が丘支店～
商店街で「緑が丘ハッピーハロウィン」が開催され、職員10名が参加し、男性6名は近隣駐車場の整理を担当、女性4名はお菓子をお配りしました。



平成28年11月5日(土)・11月9日(水)の2日間～垂水支店～
第4回神戸垂水まちゼミが開催され、職員11名が参加しました。当庫ゼミ内容は【銀行員が伝授!お札の上手な数え方】でした。毎日の暮らしとは切り離せない大切なお金。早く正確に数えるコツをお伝えしました。

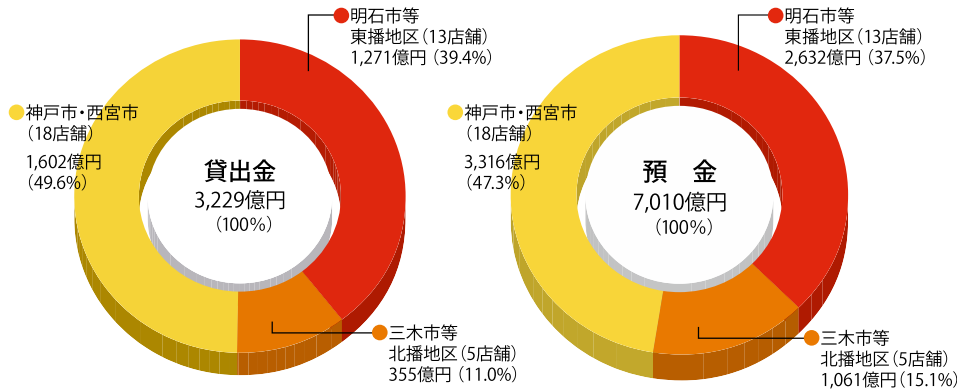


平成28年11月12日(土)～明石公園陸上競技場～
「第8回明石リレーマラソン」に特別協賛すると共に、本部職員による給水所の開設を行いました。また、当庫からも職員5チーム49名が参加し、全チーム無事に完走しました。

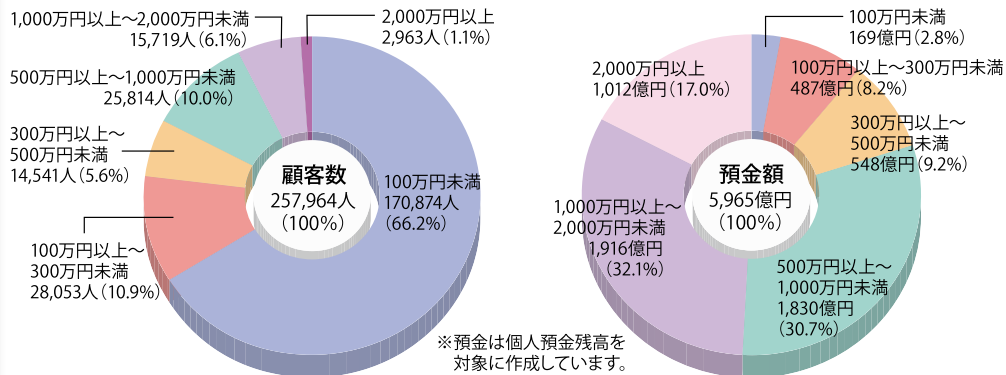


平成29年1月28日(土)～明石市立産業交流センター～
「第17回親子で楽しむロボット教室」が開催され、NHK高専ロボコンに出場したロボットをはじめ、いろいろなロボットの操縦を体験していただきました。親子連れ参加者に休日を楽しんでいただきました。

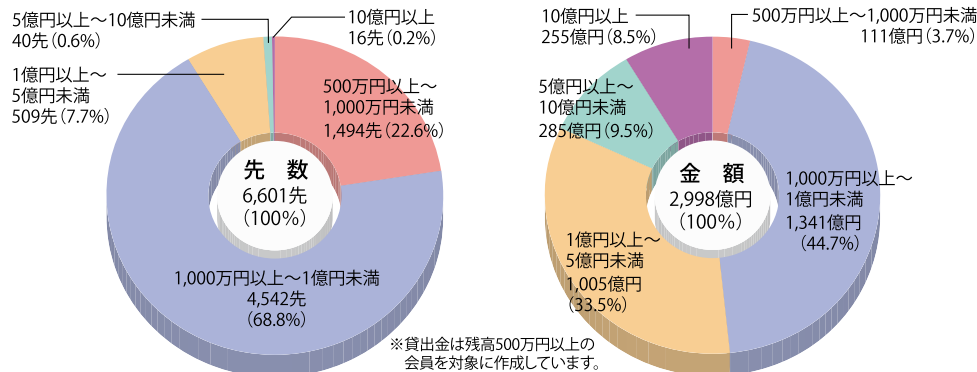
〈貸出金・預金の地域別構成〉（平成29年3月31日現在）



〈預金者のプロフィール〉〈個人預金の残高階層別みた顧客数と預金額〉（平成29年3月31日現在）



〈貸出先のプロフィール〉〈貸出金の残高階層別みた先数と金額〉（平成29年3月31日現在）



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉（平成28年9月30日現在）

